

《 聖書の言葉 》 詩編 85編9節

神の語られることばを聞こう

神は平和を約束される、

その民、神に従う民に 心を神に向ける人に

神が約束されている平和とはどのようなことでしょうか  
世界に平和をもたらせる者となりますように

保護者の皆様には、いつも本校のカトリック教育に対しまして、ご理解・ご協力くださり、ありがとうございます。

今年度もカトリック通信「一粒の麦」を通して、本校のカトリック教育の一端をわかちあって参りたいと思います。2021年度最初の本号では、1学期に取り組んだカトリック行事やボランティア活動の内容と生徒の感想、そして夏期休暇中のカトリック平和行事などをまとめております。どうぞお読みください。また、今年度も日本のカトリック学校の保護者に向けて年3回発行されている「よき家庭」を配布いたします。こちら合わせてお読みください。

☆カトリック教育

概要 ねらい	本校の創立基盤であるキリスト教に触れ、神の存在を考え、「人がみな、神から愛されている存在」であることを自覚する。「神の愛」を受けて、その感謝の心を隣人に伝えられるように努力する。キリスト教の果たしてきた歴史的役割やキリスト教を基盤とした世界観にも触れる。宗教の授業や、様々な行事・活動を通じて、「感謝の心」「支え合う心」「奉仕の心」を育む。
日々の 活動	*瞑黙 …授業前後と終礼時、集合時などに行う。「平素より自制する精神力を小さなことによってよく養い、大事における自分を抑制する勇気と力を備えるため。」(かつての生徒心得より) *お祈り…終礼時に行う。(祈りは学年によって違うが、東日本大震災の祈りや聖ジュリーへの祈りなど全学年で同じ祈りをおこなう場合もある。)
カトリック 研究会	中1から高Ⅲまでの希望者が、毎週金曜日の放課後に集まり、聖書のわかちあいなどを行う。また、学園祭に参加し、学園祭やクリスマスミサの準備や進行を行う。その他、年に数回、錬成会などをおこなう。

## ☆ボランティア活動

ねらい	カトリック教育の一環として、本校の創立が多くの人に支えられてなされたという歴史を踏まえ、他者と共に支え合うことを目指す。
推進体制	各クラスのNDA (Notre Dame Action) 委員や係、行事やLHRを通して行っていく。
学年別活動内容	中1：太田川河川敷清掃、路上生活者への物資支援、ブラインドウォーク 高I～高III：障がい者理解学習 など (予定)

### ☆NDA委員会を通じた年間の取り組み

昨年度はベルマーク・プルタブ・インクカートリッジ・ペットボトルキャップの回収、チャイルドファンドジャパン (フィリピンの里子支援)、口と足で描く芸術家協会への協力、姉妹校への募金などおこないました。

今年度も、さまざまなカトリック教育活動が行われています。以下に生徒の感想も合わせて1学期の活動の一部をご紹介します。

## 1学期の活動

### ○5月 聖母マリアへの献花 (中学生)

カトリック教会では、伝統的に5月を救い主イエス・キリストの母である聖母マリアを讃える月、「聖母月」として大切にしています。

本校では、始業前と下校時に聖母賛歌を放送しています。また、中学生が校内の聖母像にお花を捧げています。今年の中1が旧聖堂、中2がノートルダムホールホワイエ、中3が中学昇降口前の聖母像に、各自が聖母マリアのために選んだお花を捧げ、聖母マリアのご加護を願い「アヴェ・マリア」の祈りを唱えました。途中、緊急事態宣言のために中断しましたが、みんなでお花を捧げることができました。マリア様も笑顔で喜んでくださっていることでしょう。



<中1 旧聖堂>



<中2 ノートルダムホール>



<中3 中学昇降口前>

## 〇月8日 創立者聖ジュリーの日（全校生徒）

テーマ：「Share our love ～今こそ支え合おう～」

創立者である聖ジュリー・ピリアート（1751～1816）は、フランス革命の動乱期を生き延びた聖人です。困難な状況のなかであっても、いつも「神さまは何と善いお方」ということばを人々に伝え、微笑みを絶やしませんでした。聖ジュリーは「微笑みの聖人」と呼ばれ、優しい微笑みの肖像画が描かれています。ミサでは、「善いサマリア人」、隣人愛についての箇所が朗読で読まれました。他者のために尽くされた聖ジュリーの生涯を思い起こす時間となりました。



### 《校内》

・中2～高ⅡはNDホール講堂でミサに参列、シトラスリボンの作成

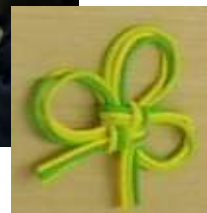
中2～高Ⅱが作成したシトラスリボンはコロナ禍で生まれた医療従事者や感染者差別、偏見を自分たちからなくして「ただいま」「おかえり」と言いあえる社会をつくろうと愛媛の有志が始めたプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなんで、シトラス色のリボンの3つの輪は、地域と家庭と職場（学校）を表しています。3つの輪が結びついて差別や偏見のない社会をつくっていくのです。作成後はカトリック学校、同窓生の病院、介護施設、高齢者施設にお送りしました。



NDホール講堂でのミサ



シトラスリボン作成



### シトラスリボンを作成して（感想）

- ・ボランティア活動がしたかったので、学校でみんなと協力して活動ができてとても嬉しかったです。シトラスリボン運動を紹介していこうと思います。
- ・思っていることを、気持ちを目に見える形にすることで相手に伝える方法があることを実感しました。作ってみてリボンの3つの輪がつながっていることが分かりました。
- ・今最前線でコロナと闘っておられる医療従事者の方たちのために、少しでも役立つようにという気持ちで作りました。うまくはできませんでしたが、役立つといいなと思います。
- ・リボンやひも、水引を使って個性豊かできれいなシトラスリボンを作ることができました。このシトラスリボンを受け取った医療従事者の方々が少しでも幸せな気持ちになると嬉しいです。

## 《世界平和記念聖堂》

- ・中1は世界平和記念聖堂でミサに参列。高Ⅲは校内で世界平和記念聖堂からの配信映像によるミサに参列。



世界平和記念聖堂（中1）



HR教室（高Ⅲ）

世界平和記念聖堂のミサに参列して（感想）

- ・初めてのミサだったのでかなり緊張した。
- ・ミサでたくさんの驚きがありました。教会は共に祈れる場だとわかりました。
- ・パイプオルガンの音も初めて聞きました。澄んでいて美しい音でした。
- ・清心での6年間で最後の聖ジュリーの日にみんなと集まれて、ミサに参列できてよかったです。ミサを行うために尽力して下さいました方たちに感謝したいです。
- ・中1のときはまだよくわかっておらず、教会では「大きい」「ステンドグラスがきれい」など見た目、表面的なことにしか目がいかなかったように思うけれど、今は平和記念聖堂が世界各地からの支えでつくられ、「ミサができる」という平和、安心感、幸せなど内面的なことに考えがいくようになった。

## 夏休み中のカトリック平和行事



○カトリック広島司教区 2021 平和行事プログラム \*事前申し込みが必要です。

毎年、カトリック広島司教区では平和行事を8月5日～9日に世界平和記念聖堂でおこなっています。全体会や分科会で実施される様々なプログラムがあります。被爆証言や平和のための祈りの集いが準備されています。コロナ感染予防対策のため、事前の申し込みが必要です。Youtubeでも配信されますので、ご覧ください。宗教の Google classroom に詳細を載せております。この夏も、このプログラムを通して一緒に平和への想いを深めていけたらと思っています。

《平和行事プログラム》 \*一部紹介

①8月5日（木）

基調講演 13:05～14:40

- ・「アルペ神父と長束野戦病院～いつでも、どこでもよろこんで分かち合う者になる～」  
坂井陽介神父（教皇庁立グレゴリアン大学心理学科講師）
  - ・「イエスのみ心のアルペ」 ルイス・カンガス神父（山口教会）
- 分科会 14:50～16:30 『わが命つきるとも』制作秘話・被爆体験

②8月6日（金）

原爆・すべての戦争犠牲者追悼ミサ 8:00～9:00 世界平和記念聖堂

ミサ前に絵本『さがしています』の朗読 朗読者アーサー・ピナードさん

※校内で配信を視聴できる予定です。

次号は、2学期末の予定です。  
カトリック教育探究部